

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給方法の提供

タイトル 学校給食への野菜供給と地元野菜を使った高崎ソース・しょうゆ

JA名 たかさき（群馬県）

1 動機 （経緯）	学校給食への野菜供給は、学校栄養士が1人の生産者に野菜を納めて欲しいとの話しをきっかけにして生まれ、当JAが学校給食と生産者を繋ぐ架け橋となる役割を担い開始しました。
2 概要	高崎市为学校給食には地場野菜を多く取り入れており、当JAからジャガイモ、タマネギ、ニンジン、トマト、チンゲン菜、オータムポエム（アスパラ菜）等、多種多様な地場野菜の供給を行っています。 また、地場野菜の安定的な供給や学校栄養士と協力して作った「高崎ソース」（地場産のタマネギ・トマト等を使用）、「高崎しょうゆ」等も生み出し、学校給食に対する積極的な取組みを行っています。
3 成果 （効果）	JAとして、地場野菜の生産、地域農業の活性化、生産者の生産意欲の向上という意味で、同事業は非常に重要な位置付けを担っております。 また、給食を食べる子どもにとっても身近にある良品質の地場野菜を口にする事で、食農教育等にも役立っております。
4 今後の予定 （課題）	高崎市内では、良質な地場野菜を給食に出したいとの学校の要望も増えていきます。また、生産者側も生産意欲が高まるとともに、安定した販路の確保という観点からも重要であり、今後も学校給食と生産者を繋ぐ架け橋という役割を担っていきたいと考えています。

【地場産のタマネギ・チンゲン菜】



【高崎ソース・高崎しょうゆ】

